

3. ワクチン接種の促進

ワクチンの接種状況（2月6日現在）

2月6日時点で、約8万1千人が3回目接種を終了しています。

		2月6日時点	1月26日時点	増加
接種済者数	1回目	1,069,721人	1,067,929人	1,792人
	2回目	1,062,559人	1,060,692人	1,867人
	3回目	<u>81,174人</u>	27,684人	53,490人
全年代人口接種率 (1,344,739人)	1回目	79.55%	79.42%	0.13%
	2回目	79.02%	78.88%	0.14%
	3回目	<u>6.04%</u>	<u>2.06%</u>	3.98%
12歳以上人口接種率 (1,222,554人)	1回目	87.50%	87.35%	0.15%
	2回目	86.91%	86.76%	0.15%
18歳以上人口接種率 (1,148,788人)	3回目	7.07%	2.41%	4.66%

※接種済者数は、ワクチン接種記録システム（VRS）の実績を引用しています。

※人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口を引用しています。

2月末までに接種を希望する対象者の接種終了見込み調査

2月末までに接種を希望する対象者について、全市町村から、接種終了が可能であると、報告されています。

市町村名	終了見込み
奈良市	○
大和高田市	○
大和郡山市	○
天理市	○
橿原市	○
桜井市	○
五條市	○
御所市	○
生駒市	○
香芝市	○
葛城市	○
宇陀市	○
山添村	○

市町村名	終了見込み
平群町	○
三郷町	○
斑鳩町	○
安堵町	○
川西町	○
三宅町	○
田原本町	○
曽爾村	○
御杖村	○
高取町	○
明日香村	○
上牧町	○
王寺町	○

市町村名	終了見込み
広陵町	○
河合町	○
吉野町	○
大淀町	○
下市町	○
黒滝村	○
天川村	○
野迫川村	○
十津川村	○
下北山村	○
上北山村	○
川上村	○
東吉野村	○

※赤字は、1/31奈良県新型コロナウイルス対策県・市町村会議資料からの変更箇所

3回目（追加）接種に係る県の主な取り組み（1 / 2）

市町村の集団接種会場への医師の派遣

2月4日以降、医師の確保が困難な市町村の集団接種会場に医師を派遣し、接種の加速化を図ります。

【2月2日時点】

市町村名	のべ日数	のべ人数
奈良市	9日間	12名
大和高田市	9日間	33名
橿原市	16日間	32名
桜井市	3日間	10名
五條市	6日間	6名
生駒市	8日間	24名
香芝市	16日間	75名
葛城市	8日間	55名
宇陀市	6日間	6名
斑鳩町	4日間	12名
上牧町	3日間	9名
広陵町	2日間	2名
合計	90日間	276名

3回目（追加）接種に係る県の主な取り組み（2 / 2）

○2月下旬から県による広域接種会場を2カ所に設置し、更なる接種の加速化を図ります。

		奈良会場	中和会場
使用ワクチン	武田/モデルナ社		
接種対象者	県内市町村が発行した3回目接種用の接種券を有する18歳以上の方		
予約開始時期	2月中旬予定（方法等の詳細については、決定次第公表します。）		
施設	2施設	奈良県文化会館	奈良県産業会館
日程	20日間	13日間 2月25日(金)～2月27日(日) 3月1日(火)～3月4日(金) 3月7日(月)～3月12日(土)	7日間 3月14日(月)～3月17日(木) 3月22日(火)～3月24日(木)
接種予定回数	23,040回	17,280回	5,760回
1日あたり 接種回数	—	1,440回（会場の都合により 下回る場合があります）	960回（会場の都合により 下回る場合があります）

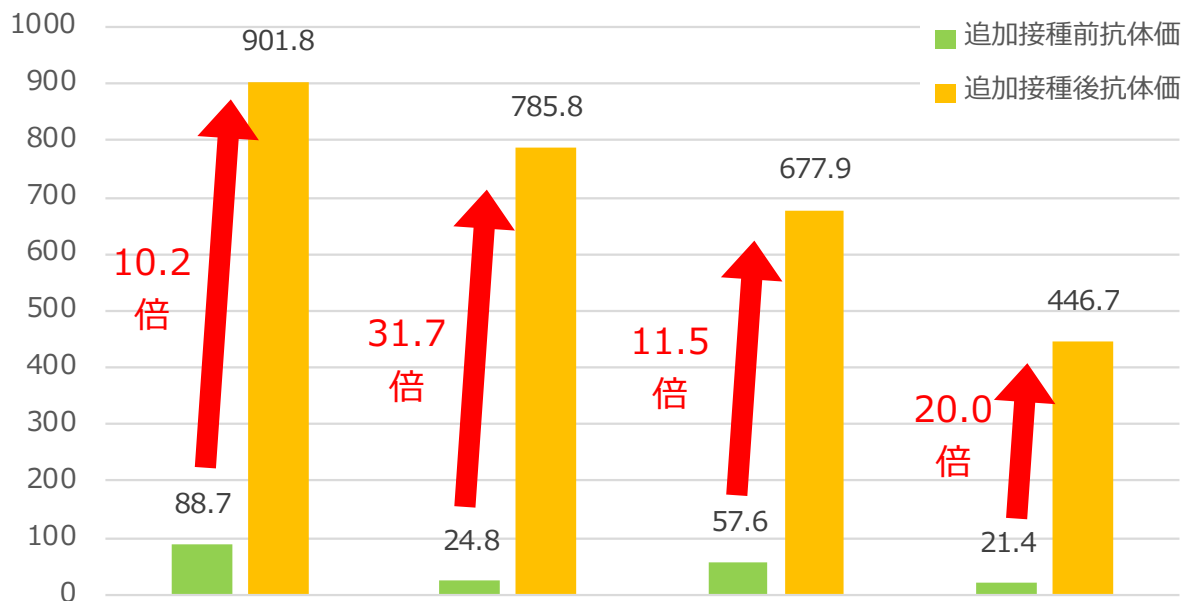
武田/モデルナワクチンによる3回目（追加）接種について

- 成人を対象とした交接種による追加接種により、中和抗体価が十分に上昇したと報告している海外の研究データがあります。（下図のとおり）
- 武田/モデルナ社ワクチンによる追加接種では、初回接種と比べて接種量が半分になります。また、2回目接種後と比較して、主に発熱や疲労などの症状が少ないことも報告されています。

令和3年12月16日

第27回厚生科学審議会予
防接種・ワクチン分科会
資料を基に県で作成

<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000868349.pdf>



追加接種	3回目接種	武田/モデルナ	武田/モデルナ	ファイザー	ファイザー
初回接種	2回目接種	武田/モデルナ	ファイザー	武田/モデルナ	ファイザー
	1回目接種				

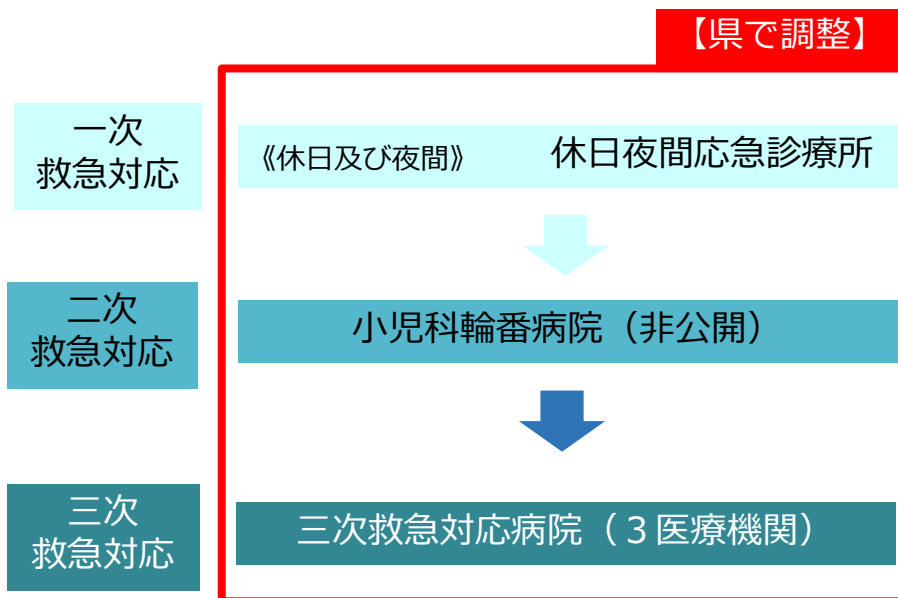
※注：武田/モデルナ社のワクチンは、日本において追加接種では50μgを接種することで薬事承認されていますが、この研究では100μgを接種しています。

小児(5～11歳)への接種体制の構築について

小児（5～11歳）への接種については、3月からの接種が予定されています。
県では、小児接種について、副反応に対応する救急体制及び相談体制の構築等を進めています。

① 接種後の救急体制

接種後の救急体制の構築を進めています。



② 接種後の副反応に関する相談対応

3月から、小児接種の相談への対応を開始します。

奈良県新型コロナワクチン副反応コールセンター
(365日・24時間対応)

TEL 0120-919-003

③ 保護者用リーフレットの作成

保護者用のリーフレットの作成を進めています。

(内容) 小児用ワクチンの効果や副反応について 他



引き続き、各市町村での準備状況を確認し、課題等を県としても共有し、個別の改善策の検討を市町村とともに進めます。